

〔イノベーションを生む力〕

# シリコンバレーのスピードを身につける方法

成功企業の考え方、モデルとその実践法とは。

(2019年4月5日開催、日外協講演会から)

ジャパン・インターカルチュラル・コンサルティング(JIC) 社  
創設者・社長 **ロッシェル・カップ**

## し烈な競争と激しい栄枯盛衰

シリコンバレーの特徴の1つは、競争が激しいこと。面白そうな技術が登場しビジネス機会が生まれると、同時に複数企業が参入してくる。生き残りをかけた競争はし烈、何よりスピードが求められる。

もう1つの特徴は知的労働者ばかりが働いていること。技術者、MBA取得者、ベンチャー投資家など報酬がとてつもなく高く、管理することが容易ではない彼らをどれだけ有効活用できるかがカギになる

キーワードはダーウィンの進化論、“Survival of the Fittest”(適者生存)。そして、“Get Shit Done!”(とっととやる)、まず結果を!

企業の栄枯盛衰は激しい。Facebook 本社の看板の裏側に回ると、そこに「Sun Microsystems」



Facebook 本社前の看板(アメリカ・カリフォルニア州)  
(写真: EPA =時事)

と記されているのが分かる。90年代に全盛をきわめたIT企業。その後、落ち目となって買収された。Facebookはその跡地にある。

## 能力を最大限に発揮できる環境

シリコンバレー流働き方の特徴は3つある。

第1に個人の生産性。第2にチームメンバーのコミュニケーション能力とチームにおける心理的安全性。第3にマネジャーの態度としてのサーバントリーダーシップ。いずれも狙いは、ライバルより早く動いて成果を出すこと、知的労働者が能力を最大限に発揮できる環境をつくることにある。

### 1. 個人の生産性

生産性は「効率」とは異なる。ピーター・ドラッカーによると、「効率とは物事を正しく行うことであり、効果とは正しいことを行うことである」「そもそもしなくてもいいものを効率よく行うことほど無駄なことはない」。生産性とは時間の有効利用、シリコンバレーでは「時間の無駄遣いは最大の敵」。仕事の重要性を比較し、優先付けを行う。“Be Lazy”(なまけものになろう)とよく言われる。行動をできるだけスリム化し最小の努力で最大の成果をとという意味だ。

時間の無駄遣いになりがちなものとして挙げ